

科目名		総合実習 1							年度	2025
英語科目名		General Practice 1							学期	前期
学科・学年		デザイン科 プロダクトデザイン専攻 1 年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員		袴田哲郎、大山敏弘	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダクトデザイナー		
【科目の目的】										
・立体デザインの基礎的なスキルを身につける ・実践的な課題制作を通して立体デザインの表現特性を理解する ・自分の作品を言語化し人に説明することができる										
【科目の概要】										
プロダクトの課題制作を通して、表現特性について学ぶ										
【到達目標】										
A. 技術力/課題内容と表現特性に合わせた制作技術や素材について理解し、実践できるようになる B. 思考・発想力/課題条件に合わせた論理的思考に沿った、効果的な表現ができるようになる C. 企画力/複数のアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証をし立体構造の理解を深める D. 遂行力/制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができるようになる E. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける										
【授業の注意点】										
道具の使い方、素材の扱い方に注意し怪我をしないようにする。制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	素材を理解した上の制作の仕方や構造を理解し表現を丁寧にしている	素材を理解した上の制作の仕方や構造を理解し制作している	素材の工夫が必要と考えアイデアを立体表現している	素材の工夫が必要と考えているが、形として不十分	制作工程や素材の理解が不足している					
到達目標 B	課題条件を考え表現内容を工夫し、素材を活かした制作をしている	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、丁寧に制作している	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、制作している	課題条件に合わせた表現内容を制作しているが、形になっていない	課題条件に合わせた表現内容についての理解が不足している					
到達目標 C	立体構造や素材を理解し、描画材を活かして丁寧に制作している	立体構造や素材を理解し、丁寧に制作している	立体構造や素材を理解して、制作をしている	立体構造や素材を理解はしているが、制作への反映が不足している	立体構造や素材を理解と、制作への反映が不足している					
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない					
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない					
【教科書】										
課題ごとに資料を用意する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		総合実習 1				年度	2025
英語表記		General Practice 1				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業の流れを理解する	1	自己紹介	自己紹介ができる	2	
			2	授業の流れの確認	学習目標を立てることができる		
			3	三角法トレーニング	製図における三角法の概要が理解できる		
2	線の種類と用法	線の種類と用法について理解する	1	線の種類と用法	図面の構成要素（実線、細線、破線、寸法線、表題欄）を描き理解する	2	
3	投影法の種類	投影法を理解し作図する	1	投影法	基礎的な投影図法を理解する	2	
			2	作図	簡単な製品を作図することができる		
4	図面の配置と正面図の作図	図面の配置と正面図の作図	1	図面の配置	指定の用紙にバランスよく配置できる	2	
			2	正面図の作図	美しい正面図を描けるようになる		
5	寸法と三角法の理解	寸法と三角法を理解する	1	寸法	図面における寸法、寸法線の意味を理解する	2	
			2	三角法	正しい表記法を理解する		
6	三面図とアイソメトリック図法1	三面図とアイソメトリック図法の技術と理解	1	三面図の作図	シンプルで基礎的な形態を三面図で表現できる	2	
			2	アイソメトリック図法	シンプルで基礎的な形態をアイソメ（等角投影）図で表現できる		
7	三面図とアイソメトリック図法2	三面図とアイソメトリック図法の技術と理解	1	三面図の作図	複雑な形態を三面図で表現できるようになる。	2	
			2	アイソメトリック図法	複雑な形態をアイソメ（等角投影）図に置き換えて表現できる		
8	断面図、R指示、ボルトナット	断面図とR指示の理解	1	断面図の作図	ボルトナットの断面図の表現ができる	2	
			2	R指示の表現	ボルトナットのR指示図の表現ができる		
9	スマートホンの作図 1	作図技術の習得	1	スマートホンの作図	Rと直線のつながりを美しく描けるようになる。	2	
10	スマートホンの作図 2	作図技術の習得	1	スマートホンの作図	自分のスマートホンを正しい投影法で表現できるようになる	2	
11	スマートホンの作図3	作図技術の習得	1	スマートホンの作図	スマートフォンの美しい図面を完成させる	2	
12	一点透視図1	作図技術の習得	1	一点透視図の作図	自分の部屋を一点透視図で描き、表現できるようになる	2	
13	一点透視図2	作図技術の習得	1	一点透視図の作図	自分の部屋を一点透視図で完成させる	2	
14	二点透視図1	作図技術の習得	1	二点透視図の作図	二点透視図を理解し、表現できるようになる	2	
15	二点透視図2	作図技術の習得	1	二点透視図の作図	二点透視図を完成させて提出する	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等